

【EMD.GR.JP 掲載のニュース】

(2005年3月2日～

2005年4月5日分)

HGST、1インチ20GB HDDを実現する垂直磁気記録技術を開発

日立グローバルストレージテクノロジーズ(HGST)は、垂直磁気記録技術を利用したHDDで230Gbit/平方インチの面記録密度を実証したと発表した。

垂直磁気記録技術は、HDDの円板面に磁気情報を垂直に配置することで、水平面内記録方式よりも同じ面積でより多くの情報を書き込むことを可能にした技術。

同技術は1977年当時、東北大学電気通信研究所の岩崎俊一教授(現東北工業大学学長)が基本原理を提唱したもので、28年経てようやく実用化された。

現行の水平面内記録方式では、磁気データをディスク面に対して垂直に配置するため、磁極が反発し合い高密度化が困難とされている。

例えば記録媒体の膜厚を薄くし、磁極の反発を抑え高密度化が可能になったとしても、熱揺らぎの影響で記録磁化が消失してしまうといった問題があり、水平面内記録技術では150Gbit/平方インチ程度を超える面記録密度が限界とされている。

一方、垂直磁気記録方式では、磁極を垂直に配置することで、隣接する磁性粒子が吸引し合い高密度に配置することができる。また、記録媒体の膜厚を十分に持たせることが可能で、記録磁化を安定化させることができる。

さらに、記録ヘッドと記録方式も変更され、従来のリング型記録ヘッドで漏れ磁束による媒体記録方式から、単磁極型記録ヘッドと裏打ち層で磁気回路を構成した磁界による媒体記録方式へ変更された。

同社では2004年12月よりフィールド試験を実行しており、研究者、HDD関連業界、OEM顧客等が垂直磁気記録技術を導入した2.5インチHDDを搭載するノートPCを使用している。

今回実証した230Gbit/平方インチの面記録密度は、現状の水平磁気記録技術で到達している記録密度の約2倍に相当し、2007年には3.5イン

チで1TBの容量を持つ製品や20GBの1インチMicrodriveを実現可能となるとしている。

なお、同社は2005年中に同技術を採用した2.5インチで120GB程度の製品を市場に投入する予定。

(4/5)

ジャストシステム、PSPへの転送が可能な「BeatJam2005」を発表

ジャストシステムは、オーディオジュークボックスソフト「BeatJam」の新バージョンを2005年5月27日より発売すると発表した。

「BeatJam」は音楽CDからのリッピングや、楽曲管理、プレイリスト再生、ポータブルプレーヤーへの転送機能などを備えたオーディオジュークボックスソフト。

通常版の「BeatJam 2005」と、ミュージックサーバー機能搭載の「BeatJam 2005 [Music Server Edition)」が用意される。

リッピング形式はMP3/WMA/ATRAC3 plusなどが選択可能。楽曲情報やムビーなどを組み合わせた全面表示を行ないうえに音楽再生する「RoomStyle プレーヤー」も搭載している。

また、レーベルゲートの運営する音楽配信サイト「Mora」へのアクセス機能も搭載。初回出荷5,000本限定で、Moraの楽曲をダウンロードできる3曲分の「ネットミュージック・クーポン」が付属する。

転送可能なオーディオプレーヤーは、NetMDやHi-MD対応機器、PSPなど。なお、著作権保護されたWMAの転送は行えない。

新たに追加されたMusic Server Editionでは、BeatJam 2005を搭載したPCに「BeatJam Music Server」をインストールし、同梱されるプレーヤーソフト「BeatJam Network Player」を利用して、同一LAN上の他のPCから音楽再生が行なえる。

(4/5)

アイリバー、1インチHDDプレーヤー「H10」の6GBモデルを発表

アイリバー・ジャパンは、カラー液晶を搭載した1インチHDD搭載のオーディオプレーヤー「H10」に6GB

モデル「H10 [6GB:color]」を追加、2005年4月初旬より発売開始すると発表した。

HDD容量以外は5GBモデルからの変更点はなく、ボディカラーはネオシルバー/ディープレッド/ミッドナイトブルー/スレートグレーの4色をラインナップする。

対応する音声圧縮形式はWMA/MP3。対応ビットレートはMP3が32~320kbps(VBR対応)、WMAが32~192kbps。WMAのDRMもサポートする。

再生周波数特性は20Hz~20kHz。S/N比は90dB(MP3)。ヘッドフォン出力は18mW×2(16Ω)で、クラス最高の出力性能としている。

26万色表示に対応した1.5型TFTカラー液晶を搭載し、操作部にタッチパネルを採用している。

フォトビュー機能やテキストビュー機能も搭載。FMチューナーも備え、FM録音も可能。内蔵マイクによるボイスレコード機能も搭載する。

USBストレージクラスに対応しており、PCからドラッグアンドドロップで音楽データの転送も可能。

WMAのDRMを施したオーディオファイルについては、付属のオーディオソフト「iriver Plus」もしくはWindows Media Playerを利用する必要がある。iriver Plusには、アナログ音源からデジタル録音したデータを解析し、自動的に曲名を取得できるMusicID機能も搭載している。

外形寸法は54.6×99.5×15mm(幅×奥行き×高さ)、充電電池を含む重量は96.2g。

電源は着脱式のリチウムイオンバッテリーで、最大12時間の連続再生が可能。価格はいずれもオープン。

(4/1)

シャープ、FMトランスミッター内蔵プレーヤーを発表

シャープは、FMトランスミッターを内蔵したシリコンオーディオプレーヤー「MP-A100/A200」を2005年4月15日に発売すると発表した。

メモリ容量256(MP-A100)/512MB(MP-A200)の2種類を用意し、いずれのモデルにもホワイトとレッドの2色のカラーバリエーションをラインナップする。

対応する音声圧縮形式は WMA/MP3。対応ビットレートは MP3 が 8~320kbps (VBR 対応)、WMA が 32~192kbps。WMA の DRM もサポートする。

本体に FM トランスミッターを内蔵し、イヤフォンで音楽を聴くだけでなく、再生音を FM 電波として送信し、車内のカーステレオや室内のラジオで受信・再生できる。

バックライトも搭載液晶ディスプレイは 10 文字×5 行表示。ID3 タグ表示もサポートしており、曲名やアーティスト名の日本語表示にも対応する。歌詞表示もサポートし、WMA ファイルの歌詞編集が行なえるソフトもバンドルされる。ソフトの対応 OS は Windows XP。

MP3 エンコード機能も備えており、本体のみで MP3 録音が可能。内蔵マイクを使ったボイスレコーディングに対応するほか、内蔵 FM チューナからのラジオ録音、アナログ音声入力からのダイレクト録音もサポートしている。

音質面では、6 モードのイコライザを搭載。ノーマル、ジャズ、ロック、クラシック、ポップ、バスから選択可能となっている。

さらに、ID3 タグ情報を読み取り、自動的にアルバムリストやアーティストリストを作成する「オートリスティング機能」も備えている。なお、複数のプレイリストをユーザーが作成する機能は備えていないが、プログラム再生機能は利用できる。

PC とのインターフェースは USB 2.0。ストレージクラスに対応しており、専用ソフトを使わずに楽曲の転送が可能。対応 OS は Windows 98 SE/Me/2000/XP。

外形寸法は 54 × 85.6 × 9.4mm (幅 × 奥行き × 高さ)、充電電池を含む重量は 70g。

電源は内蔵のリチウムポリマー充電電池を利用。最大約 20 時間の連続再生が行なえるが、FM トランスミッター使用時は最大約 5 時間再生となる。充電所要時間は約 4 時間。AC アダプタに加え、USB ポートからの充電もサポートする。

価格はいずれもオープン。

(3/31)

マックス・インターナショナル、CCCD を作成する音楽配信サービス開始

マックス・インターナショナルは、同社が運営している有料音楽配信サイト「MaxMuse」において、2005 年 4 月 1 日からモーニング娘。を含む、アップフロントワークスに所属するアーティストの音楽配信を開始すると発表した。

MaxMuse は、2005 年 1 月 28 日に開設された音楽配信サイト。2005 年 4 月 29 日にリニューアル・オープンを予定しており、それに先駆けた 2005 年 4 月 1 日にプレオープンする。

配信楽曲は国内外メジャー、インディーズの楽曲を約 15,000 曲、価格は 105~158 円 (税込)。リニューアルに伴い、クレジットカードに加えて Webmoney での支払いが可能となる。

音声コーデックには Windows Media Audio (WMA) を、DRM には Windows Media Rights Management を採用。WMA DRM をサポートしたポータブルオーディオプレーヤーに 1 回転送できる。

また、米 Macrovision が開発した、セキュアに CD-R にライティングできるという「S-CDR」技術に対応していることが特徴。書き込んだ CD-R は CD プレーヤーやコンボなどで再生できるが、PC では再生できない。

CD-R への書き込みは原則 3 回だが、モーニング娘。の楽曲は 1 回のみとなる。

(3/31)

クリエイティブ、20GB HDD 搭載オーディオプレーヤーを発表

クリエイティブメディアは、20GB の HDD を搭載したポータブルオーディオプレーヤー「Creative Zen 20GB」を 2005 年 4 月中旬に発売すると発表した。

対応する音声圧縮形式は WMA/MP3/WAV。対応ビットレートは、WMA/MP3 とともに 8~320kbps。WMA の DRM もサポートする。

SN 比は 96dB 以上。FM チューナ、マイクを内蔵し、いずれも録音が可能。録音形式は IMA ADPCM 形式で FM 録音時にステレオ、内蔵マイク録音時にはモノラルとなる。

5GB の HDD を搭載した「Zen Micro」と同じデザイ

ンやスタイルを踏襲し、1.65 型/160 × 104 ドットのブルー EL バックライト液晶ディスプレイを搭載。液晶下の操作部にはタッチパネルを採用している。

音質面ではアコースティック/クラシック/ポップス/ロックなど 8 モードのプリセットを用意。5 バンドのカスタム設定も可能となっている。

PC とのインターフェースは USB 2.0。オーディオデータの転送は付属ソフトの「Creative Media Source」や「Zen メディアエクスプローラ」などから行なう。

USB ストレージクラスに対応しており、専用領域を設けてデータのバックアップなどにも利用できるが、ストレージ領域にオーディオデータを転送して再生することはできない。対応 OS は Windows 98 SE/Me/2000/XP。

また、PC 上の Outlook との連携機能も搭載。Outlook のカレンダーや ToDo、アドレスのデータを Zen に転送できるほか、Outlook Express のアドレス帳データも読み込み可能となっている。

外形寸法と重量は約 62 × 19.5 × 95mm (幅 × 奥行き × 高さ)、約 140.5g。

電源は内蔵のリチウムイオンバッテリーを使用。連続再生時間は約 11 時間。USB ポートからの充電にも対応しており、充電所要時間は AC アダプタが約 3 時間、USB が約 5 時間。

カラーリングはブラック (-BK) とホワイト (-WT) の 2 色。ベルトクリップ、スタンド、保護ポーチなどが付属する。価格はオープン。

(3/30)

ソニー、メモリースティック PRO デュオの高速型 2GB モデル発表

ソニーは、容量 2GB のメモリースティック PRO デュオ (High Speed) 「MSX-M2GN」を 2005 年 6 月下旬より発売すると発表した。

メモリースティック PRO デュオ (High Speed) は、データ転送速度 80Mbps (10MB/sec) を実現した製品。動作保証温度は摂氏 -25 度 ~ 85 度。

本体サイズは 20 × 31 × 1.6mm (幅 × 奥行き × 高さ)、重量は約 2g。

また、最低転送速度 15Mbps の 1GB モデル

「MSX-M1GS」も 2005 年 7 月下旬より発売される。

いずれも著作権保護技術「マジックゲート」に対応する。

価格はオープン。

(3/30)

スピードネット、無線アクセスサービスの受付終了

東京電力が運営するスピードネットは、上下最大 1.5Mbps の無線アクセスサービスについて、新規申し込みの受け付けを 2005 年 3 月 31 日で終了すると発表した。

スピードネットの無線アクセスサービスは、2.4GHz 帯の無線を利用することで、電話回線や光ファイバなどの回線を必要とせずにインターネットに接続できるサービス。

ADSL や FTTH の高速化・低廉化に伴い、同サービスへの新規申込みおよび加入状況は減少の一途をたどっており、経営資源を FTTH サービス「TEPCO ひかり」へ集中するため 2.4GHz 無線サービスの新規申込み受付を終了するとしている。

なお、すでに無線アクセスサービスに加入しているユーザーは 2005 年 4 月 1 日以降も継続して利用できるが、サービス終了も検討していくとしている。

(3/29)

東芝、1 分で充電可能なリチウムイオン電池を開発

東芝は、1 分間で 80% の急速充電が可能なリチウムイオン電池を開発したと発表した。

リチウムイオン電池は、高エネルギー密度ながら充電時間が長いという課題を持っていたが、新型のリチウムイオン電池は負極材料にナノ微粒子を採用している。

ナノ微粒子は、リチウムイオンをスムーズに吸収/貯蔵することができ、急速に充電を行っても有機電解液を分解しない特性を持つ。今回、ナノ微粒子を均一に固定する技術を開発し、電極化に成功した。

これにより、急速充電を可能にするばかりでなく、充放電を 1,000 回繰り返した後の容量低下を 1% に抑え、優れたサイクル寿命性能を達成している。

また、摂氏 -40 度の低温環境下でも 80% の放電容量を維持することが可能で幅広い温度環境下での使用に耐えうることも確認している。

東芝では、今後、電力・産業用途などへの応用に向けた製品開発を行ない、2006 年中の製品化を目指していくとしている。

(3/29)

フラッシュメモリ技術盗用訴訟で東芝に損害賠償命令

米 Lexar Media は、カリフォルニア州サンタクララ郡高等裁判所が、企業秘密の盗用などで東芝株式会社および Toshiba America Electronic Components (TAEC) に対し、3 億 8,000 万ドル以上の損害賠償支払いを命じた判決を下したと発表した。

Lexar は、東芝と TAEC が Lexar の持つ NAND 型フラッシュメモリの技術を獲得するため Lexar と提携し、その後、Sandisk と提携して利益をあげたと主張、これが認められた。

東芝の弁護側は、争点となった技術は東芝が独自に開発したと主張してきたが、陪審は認めず、フラッシュメモリ開発には Lexar の技術が大きく貢献したと判断した。

これに対し、東芝では同社が NAND フラッシュメモリ技術の発明企業であり、今回の陪審による判決は不当であるとし、今後、あらゆる法的手段を用いるとコメントしている。

また、引き続き NAND フラッシュメモリ事業を積極的に推進していくことも合わせて発表している。

(3/25)

公取委、着うた参入妨害でレコード会社 5 社に排除勧告

公正取引委員会は、レコード会社およびその子会社など 5 社に対して、各社が持つ楽曲の権利を、レーベルモバイル以外の着うた配信事業者と与えようとしなかったとして、排除勧告を行なったと発表した。

勧告を受けたのは、ソニー・ミュージックエンタテインメント (SME)、エイベックスネットワーク、東芝 EMI、ユニバーサルミュージック、ビクターエンタテインメントの 5 社。

5 社は、着うたを提供する業務をレーベルモバイルに委託しているが、正当な理由なしに、共同してレーベルモバイルで提供している以外の着うたを提供する事業者に対し、原盤権の利用許諾を行わず、これを拒絶したとしている。

具体的な排除措置として、レーベルモバイル以外の事業者に対する拒絶を止めること、各社が自主的に原盤権の利用許諾の可否を決めることなどが挙げられている。

(3/24)

SCEI、PSP のファームウェアをアップデート

ソニー・コンピュータエンタテインメントは、携帯ゲーム機「PSP」(プレイステーション・ポータブル)の最新ファームウェアを公開した。

新しいファームウェアのバージョンは 1.50。PC 経由でアップデートを行なう際のアップデートのファイルサイズは約 13.2MB。

同ファームウェアを適用することで、スリープモードから復帰した際に、以前再生していたメモリスティック Duo 内の音楽ファイルの続きから再生できるレジューム再生機能に対応できるようになる。

具体的には、スリープモードからの復帰後にメモリスティックアイコンが選択された状態で、「リモコンの再生ボタンを押す」、「本体の START ボタンを押す」、「△ボタンでオプションメニューを表示し、再生を選び○ボタンを押す」のいずれかの動作を行なうことで続きから再生が行なえる。

また、MP3 形式の音楽ファイル、および画像ファイルのファイル名やフォルダ名に、アクセント付きアルファベットを使用できるようになった。

ビデオ再生面ではメモリスティック Duo に保存した動画を再生する際、設定した画面モードの保持と音楽ファイル同様にレジューム再生機能に対応できるようにする。

システム面では新たに、ドイツ語、スペイン語、フランス語、イタリア語、オランダ語、ポルトガル語、ロシア

語の表示もサポートする。

なお、アップデート方法は、PSP本体のネットワークアップデート機能を使って、無線LAN経由でアップデートを行なう方法と、PCでアップデートデータをダウンロードし、メモリースティック Duo に保存、同メモリースティックをPSPに読み込ませてアップデートする方法の2種類が選択できる。

(3/24)

オリコン、ヒットチャート運動の音楽配信サービスを開始

オリコンは、同社公式サイト「ORICON STYLE」を2005年3月23日13時よりリニューアルを実施、あわせて音楽配信サービスを開始すると発表した。

楽曲のファイル形式には Windows Media Audio (WMA) を、DRM は Windows Media Rights Management を採用、ビットレートは 128 ~ 192kbps。

DRM 対応オーディオプレーヤーへの転送回数は 1 回 ~ 無制限、CD への書き込みにも対応するが楽曲提供企業によって対応が異なる。

楽曲の料金は 157 円 ~ 315 円で、クレジットカード決済のみに対応。その他決済方式も順次対応するとしている。

楽曲を提供する企業は、社団法人日本レコード協会の正会員社 18 社を含む 50 社。楽曲数は約 10 万 5 千曲を揃える。また、韓国の Music City と Mutara、スペインの Subterfuge も楽曲を提供する。

オリコンによる音楽 CD や DVD などのセールスランキング情報「オリコンランキング」と連動した楽曲配信を行なうほか、新聞社系サイトとの連動も行なう。

(3/22)

アドテック、MP3/WMA プレーヤー「MPIO」新モデルを発表

アドテックは、韓国 MPIO (エムピオ) のポータブルリコンオーディオプレーヤー新モデル「FY400」を 2005 年 3 月下旬より発売すると発表した。

FY400 は、フラッシュメモリ容量 256/512MB、1GB の 3 モデルをラインナップ。

対応する音声圧縮方式は MP3/WMA。WMA DRM もサポートする。ビットレートは MP3 が 8 ~ 320kbps、WMA が 32 ~ 192kbps。

4 行表示が可能な解像度 128 × 64 ドットの液晶ディスプレイを搭載。オレンジ色のバックライトを備え、ID3 タグの日本語表示や、韓国語、中国語など 55 カ国語の表示に対応している。

また、MP3 エンコード機能も備えており、48 ~ 320Kbps (32KHz) / 48 ~ 128Kbps (44.1KHz) での録音が可能。アナログ音声入力からの録音と、内蔵マイクによるボイスレコーディング、FM チューナからの録音が行なえる。ただし、内蔵マイクと FM チューナを利用する場合、録音はモノラルとなる。

音質面では NORMAL/POP/ROCK/JAZZ/CLASSIC/VOCAL/ユーザー設定が利用可能。さらにサウンドエフェクト機能も備えており、効果を OFF/PURE STUDIO/CONCERT SOUND/GROOVE/DYNAMIC BASS の 5 種類から選択できる。

インターフェースは USB 2.0。スライド式 USB 端子を採用しており、別途ケーブルなどを使わずに本体を直接 PC に接続可能となっている。ストレージクラスにも対応しているため、そのまま楽曲などを転送できる。対応 OS は Windows 98 SE/Me/2000/XP。Mac OS X 10.2 以降。

電源は単 4 電池 1 本を使用。連続再生時間は約 20 時間。外形寸法は 30 × 20.9 × 80mm (幅 × 奥行き × 高さ)。重量は 37g。

価格はいずれもオープンプライス。

(3/18)

松下、メモリアーディオプレーヤー SV-MP シリーズを発表

松下電器産業は、デジタルオーディオプレーヤー「D-snap Audio」の新モデルとして、フラッシュメモリ内蔵プレーヤー「SV-MP シリーズ」を 2005 年 4 月 8 日より順次発売すると発表した。

SV-MP シリーズは、フラッシュメモリ内蔵型のオーディオプレーヤー。512MB モデルの「SV-MP720V」と 1GB モデルの「SV-MP730V」が用意される。

対応する音声圧縮方式は MP3/WMA。AAC には対応しない。

「2 ブロックデザイン」を採用し、ディスプレイ部は漢字表示に対応している。

周波数特性は 20Hz ~ 20kHz、最大出力は 4.5mW × 2ch。SV-SD シリーズと同様に 1 チップ LSI の「D.SOUND エンジン」を搭載し、高音質化を図っている。

PC との連携は USB 経由で行ない、USB ストレージクラスに対応。SV-MP720V/MP730V ヘッドラッグアンドドロップだけでオーディオ転送が行なえる。ただし、転送したファイルは暗号化が施されるため、PC への書き戻すことはできない。

FM チューナとボイスレコーダ機能を搭載。FM/ボイス録音形式は 4bit ADPCM。

バッテリーはニッケル水素充電電池で、連続駆動時間は約 10 時間。AC アダプタと USB 経由での充電が可能となっている。

外形寸法は 71.1 × 14.0 × 23.2mm (幅 × 奥行き × 高さ)、電池を含む重量は約 36.2g。

ボディカラーはシルバー(-S)/ブルー(-A)/オレンジ(-D)/ホワイト(-W)/ブラック(-K) の 5 色をラインナップする。いずれもオープンプライス。SV-MP730V は 4 月 25 日からの発売予定となっている。

(3/17)

松下、SD オーディオプレーヤー SV-SD100V/SD90 を発表

松下電器産業は、SD オーディオプレーヤー「D-snap Audio (ディースナップ オーディオ)」2 機種 (SV-SD100V、SV-SD90) を 2005 年 4 月 8 日に発売すると発表した。

SV-SD シリーズは、SD メモリーカードを採用したデジタルオーディオプレーヤー。FM チューナ/ボイスレコーダ搭載の上位モデル「SV-SD100V」と FM/ボイスレコーダを省いた「SV-SD90」の 2 モデル。

対応する音声圧縮方式は MP3/WMA/AAC。AAC は SD Jukebox で作成したものへのみのサポートで、iTunes で作成した AAC ファイルなどには対応しない。

ハーミラーデザインの筐体に、漢字表示が可能な 4 行表示の有機 EL ディスプレイを装備。広視野角化と大型化を図り視認性の向上を図っている。

PC用の音楽録音ソフト「SD Jukebox Ver.5.0LE」を同梱し、PCからのオーディオデータ転送が行なえる。SD Jukeboxで作成したアルバム、アーティスト、プレイリストなどの楽曲検索が可能。

また、「癒し系」、「ノリノリ系」などの曲の印象別に分類される「ミュージックソムリエ」を利用し、気分にあわせた楽曲を自動選曲し、転送できる。

さらに同日発表のSDカードスロット搭載ミニコンポ「SC-PM910DVD/SC-PM710SD」を利用することで、CDから簡単にSDカードに録音でき、パソコンを利用せずにオーディオデータの録音が可能となる。

デジタルアンプやイコライザ、圧縮時に失われた高域を補完する「リマスター機能」などを1チップLSIに納めた「D.SOUND エンジン」を搭載し、高音質化。また、インサイドフォンも新開発の振動板の採用により、音質の向上を図っている。

SD100Vのみ20局のプリセットFMチューナを内蔵するほか、ボイスレコーダ機能を搭載。FM録音も可能となっている。録音形式はG.726。

バッテリーは角形ニッケル水素充電池で、最大駆動時間は14時間30分。また、SD100Vには乾電池チャージャーが付属し、外出先でも利用が可能となっている。乾電池チャージャー利用時には最大50時間の連続再生が可能。

ACアダプタのほか、USB充電にも対応。SD100Vのみ乾電池チャージャーを利用した充電も行なえる。

外形寸法は42.9×17.5×43.2mm(幅×奥行き×高さ)、電池込みの重量は約39.9g(SV-SD100V)/約39.0g(SV-SD90)。イヤフォンや、ネックストラップ、充電ケースなどが付属する。なお、SDメモリーカードは同梱されない。

ボディカラーはSD100Vがシルバー(-S)とブルー(-A)、SD90がホワイト(-W)/ブルー(-A)/レッド(-R)。いずれもオープンブライス。

(3/17)

三洋電機、業界最小のリチウムイオン電池を開発

三洋電機は、業界最小のリチウムイオン充電池「ピン形リチウムイオン充電池」(品番:UR655)を開発、量産導入すると発表した。

今回開発されたのは、本体サイズが55×6.8mm

(長さ×直径)、重量5gと小型軽量のリチウムイオン充電池。電池内部の+極、-極、セパレータを巻き取る芯を電池端子と兼用化することで小型化を実現した

従来製品と比較して約4分の1の小型化に成功。体積比率では、単3乾電池の約4分の1、単4乾電池の約2分の1になる。

また、円筒形リチウムイオン充電池で実績のある土極と同等の構造であるため、高エネルギー密度、大電流放電などの特性を受け継いでいるという。

容量は120mAh、充電電圧は4.2V、体積エネルギー密度は243Wh/l、質量エネルギー密度は89Wh/kg。

さらに、外装缶にはアルミニウム缶を採用し、軽量化と形状安定性を確保したとしている。

三洋電機では、UR655を2005年夏に市場投入し、今後ラインナップを充実させ、MP3プレーヤーや携帯電話のワイヤレスヘッドセット、電子ペンなどの新しい小型電子機器に対応する市場の創出を図っていくとしている。

(3/16)

ネットマイル、購入価格に応じたマイルを付与する音楽配信サービス

ネットマイルは、音楽ダウンロードサービス「ネットマイルミュージック」の提供を2005年3月15日より開始した。

ネットマイルミュージックは、リッスンジャパンの「音楽配信Co-Brandシステム」を利用した音楽ダウンロードサービス。

販売楽曲やコンテンツなどは、リッスンジャパンが運営する「Listen Music Store」と同等で、楽曲や情報の更新、サイト運営、カスタマーサポートはリッスンジャパンが担当する。

音声コーデックにはWindows Media Audio(WMA)を、DRMにはWindows Media Rights Management 9を採用。ポータブルオーディオプレーヤーへの転送回数は3回もしくは無制限で、一部レーベルでは10回までのCD書き出しにも対応する。

価格は1曲158円～270円程度。料金決済はクレジットカードとWebMoneyが利用できる。

また、楽曲購入時には購入価格に応じたマイルポイントが付与され、貯めたポイントはネットマイルで商品や航空会社のマイレージポイントと交換ができる。

(3/15)

サムスン、カラー液晶搭載の5GB HDD プレーヤーを発表

日本サムスンは、5GBのHDDを搭載したポータブルオーディオプレーヤー「YH-820MC」を2005年3月18日に発売すると発表した。

対応する音声圧縮方式はMP3/WMA。対応ビットレートはMP3が8～320kbps、WMAが48～192kbps。

128×96ドットのカラー液晶ディスプレイを搭載しており、JPEG画像の表示もサポートする。ID3タグの日本語表示に対応するほか、フランス語、イタリア語、中国語、韓国語など、10カ国語の表示をサポートしている。

MP3エンコード機能も備えており、アナログステレオ入力、内蔵マイク、ワールドワイド対応FMチューナなどの音声をMP3フォーマットで録音できる。

音質面では5種類のイコライザとSRS WOWが利用可能。PCとのインターフェースはUSB 2.0。ストレージクラスをサポートする。

バンドルソフトとして「Music Studio」と「Multi-Media Studio」を同梱。Music StudioはCDからMP3/WMA形式へのリッピングと、音声ファイルの管理、本体への転送などが行なえる。Multi-Media StudioはPC上で画像の編集を行い、本体に静止画を転送することができる。対応OSはWindows 2000/XP。

電源は内蔵のリチウムイオン充電池を使用。約3時間の充電で約8.5時間の連続再生が行なえる。

外形寸法は88.1×49.8×13.8mm(縦×横×厚さ)。重量は84.5g。

カラーリングはシルバー、価格はオープンブライス。

(3/15)

サムスン、フラッシュメモリープレーヤーのカラー液晶モデルを発表

日本サムスは、カラー液晶ディスプレイを搭載したフラッシュメモリー型のオーディオプレーヤー「YP-T7」シリーズを2005年3月18日に発売すると発表した。

YP-T7は、メモリ容量1GBでシルバーカラーリングのYP-T7Z、同512MBでブラックカラーリングのYP-T7Xの2モデルがラインナップされる。

対応する音声圧縮方式はMP3/WMA/WAV/ASF/OGG。対応ビットレートはMP3が8~320kbps、WMAが48~192kbps、ASFが8~192kbps。

96×96ドット、6行表示が可能なカラー液晶ディスプレイを搭載しており、JPEG画像とテキストファイルの表示もサポートする。

ID3タグの日本語表示に対応するほか、フランス語、イタリア語、中国語、韓国語など、10カ国語の表示をサポートしている。

MP3エンコード機能も備えており、アナログステレオ入力、内蔵マイク、ワールドワイド対応FMチューナーなどの音声もMP3フォーマットで録音できる。さらに、FM放送の予約録音もサポートする。

音質面では5種類のイコライザーとSRS WOWが利用可能。再生速度調節も行なえる。ほかにも、時計表示やアラーム機能なども備えている。

PCとのインターフェースはUSB 2.0。ストレージクラスをサポートする。

CDからMP3/WMA形式へのリッピングと、音声ファイルの管理・転送が行なえる専用ソフト「Music Studio」をバンドルする。対応OSはWindows 98 SE/Me/2000/XP。

電源は内蔵のリチウムポリマー充電電池を使用。約2.5時間の充電で約10時間の連続再生が行なえる。

外形寸法は62×37×13.3mm(縦×横×厚さ)。重量は35.5g。キャリングケースやイヤフォン、ストラップなどを同梱する。

(3/15)

サムスン、フラッシュメモリープレーヤー5モデルを発表

日本サムスは、フラッシュメモリー型のオーディオプレーヤーの新モデルとして、単4電池を使用する小型の「YP-T6」シリーズと、単3電池を利用する「YP-MT6」シリーズを2005年3月18日に発売すると発表した。

YP-T6は、メモリ容量1GBでシルバーカラーリングのYP-T6Z、同512MBでブラックカラーリングのYP-T6X、同256MBでレッドカラーリングのYP-T6Vの3モデルがラインナップされる。

対応する音声圧縮方式はMP3/WMA/WAV/ASF/OGG。対応ビットレートはMP3が8~320kbps、WMAが48~192kbps、ASFが8~192kbps。

3行表示が可能な128×48ドットの液晶ディスプレイを採用。白色LEDをバックライトに利用しており、従来モデルよりも視認性が大幅に向上したという。

ID3タグの日本語表示に対応するほか、フランス語、イタリア語、中国語、韓国語など、10カ国語の表示をサポートしている。

MP3エンコード機能も備えており、アナログ入力した音声と、FMチューナーの音声をMP3録音できる。また、マイクも内蔵しており、WAV形式でのボイスレコーディングもサポートする。

音質面では5種類のイコライザーとSRS WOWが利用可能。PCとのインターフェースはUSB 2.0。ストレージクラスをサポートし、専用ソフトなどを使わずに楽曲の転送が行なえる。対応OSはWindows 98 SE/Me/2000/XP。

電源は単4電池1本を使用。アルカリ電池を使用した際の連続再生時間は約20時間。筐体はキューブ型のデザインを採用し、ボタンやジョグキーの操作性も向上しているという。外形寸法は55×22×23mm(縦×横×厚さ)。重量は30g。

YP-MT6は、メモリ容量512MBでブラックカラーリングのYP-MT6X、メモリ容量256MBでYP-MT6Vの2モデルがラインナップされる。

外形寸法は61×25×24mm(縦×横×厚さ)。重量は36g。電源に単3電池1本を使用し、連続再生時間は約42時間。単4電池を採用したYP-T6より若干大きく、重くなっている。

液晶ディスプレイの解像度は128×64ドットで、4行表示が可能。

そのほかの仕様はほぼ共通。MP3/WMA/WAV/ASF/OGGフォーマットの再生に対応し、MP3へのダイレクトエンコードも可能。内蔵マイクを使い、WAV形式でのボイスレコーディングも可能となっている。

(3/15)

ソニー・エリクソン、ATRAC3対応のCDMA 1X 端末を発表

ソニー・エリクソン・モバイルコミュニケーションズは、KDDIおよび沖縄セルラー向けのau CDMA 1X WIN 端末として、ATRAC3形式の音楽ファイルが再生できる携帯電話「W31S」を2005年4月中旬に発売すると発表した。

「W31S」は、“オーディオケータイ”と銘打って、充実した音楽機能を盛り込んだスライド式のソニー・エリクソン製CDMA 1X WIN 端末。

バンドルソフト「SonicStage Ver.3.0」を利用し、ATRAC3plus/ATRAC3/WAV/MP3(32~320kbps)/WMA形式のファイルをATRAC3に変換。マジックゲートに対応した最大128MBまでのメモリースティックDuoに転送し、本体で再生できる。

楽曲のタイトルやアーティスト名の表示に対応するほか、音質面ではNormal、Pops、Rock、Hiphop、Jazzの5種類のイコライザーが利用可能。また、音楽を聴きながらメールの作成・送信、Webの閲覧などが行なえる「BGM再生」機能も備えている。

本体に16mm径のスピーカーを2基搭載。卓上ホルダにサウンドリフレクタを備えるほか、DiMAGICの仮想サラウンド技術「Virtualizer X」も採用。臨場感のある再生音が楽しめるとしている。

FMラジオも備えており、放送中の曲名や番組名などを参照できる双方向機能も搭載。オンエア曲を「着うた」や「着うたフル」としてダウンロードできるほか、ラジオ局の携帯用サイトに手軽にアクセスし、メッセージやリクエストを送る機能も備えている。

端末はスライド式を採用し、本体側面のオープンキーでワンタッチオープンが可能。ディスプレイにはウルトラハードコート処理が施されており、約2.4インチ、QVGA、最大26万色表示の低温ポリシリコンシステムTFT液晶を搭載する。

USB マストレージクラスに対応し、付属の USB ケーブルでパソコンと接続し、メモリスティック Duo およびメモリスティック PRO Duo のリーダーライターとしても利用できる。

ほかに、有効画素数 201 万画素のオートフォーカス機能付き CMOS カメラを搭載。外形寸法は約 107×50×26mm(縦×横×厚さ)。充電電池を含む重量は 136g。連続通話時間は約 190 分。連続待受時間は約 250 時間。

カラーリングはリミックスオレンジとアコースティックホワイトの 2 色を用意。価格はいずれもオープン。

(3/14)

RWC、USB メモリ型 MP3/WMA プレーヤーを発表

アールダブリュシー(RWC)は、本体に USB コネクタを搭載したポータブル MP3/WMA プレーヤー「Arex THUMBSTICK Neo J(アレックス サムスティック ネオ ジェイ)」を 2005 年 4 月上旬に発売すると発表した。

容量は 128/256/512MB の 3 種類を用意し、それぞれにパールホワイトと、パステルグリーンの 2 色のカラーバリエーションをラインナップする。

対応する音声圧縮方式は MP3 と WMA。MP3 ファイルは VBR や ID3 タグの表示をサポート。WMA ファイルも VBR や DRM に対応する。対応ビットレートは MP3 が 8～320kbps、WMA が 64～192kbps。

液晶ディスプレイにはブルーのバックライトを搭載し、日本語と英語の表示をサポート。さらに、歌詞表示にも対応しており、歌詞作成ソフト「Lyric」も付属する。

イコライザは「Normal」、「Bass-N」、「Bass-S」の 3 種類を用意。さらに低域ブースト技術「TS-Bass」も 2 段階調節できる。

アルミニウムと ABS を使った筐体を採用し、外形寸法は 86×27×12mm(縦×横×厚さ)、重量は 33g。

インターフェースは USB 2.0 で、ストレージクラスに対応。OS は、Windows 98 SE/Me/2000/XP、Mac OS 9.0～9.22、Mac OS X 10.1 以降に対応する。

電源はリチウムポリマー充電電池を使用。充電は USB 端子からの給電で行ない、連続再生時間は約 10 時間。ストラップ付きのステレオイヤホンなどが付属する。

価格はいずれもオープンプライスで、店頭予想価格は 128MB が 7,800 円、256MB が 9,800 円、512MB が 13,800 円の見込み。

(3/14)

USEN、光ファイバサービスの取り付け総数が 2 月末で 26 万件超に

有線ブロードネットワークス(USEN)は、2005 年 2 月 28 日現在でのブロードバンド事業の進捗状況を発表した。

これによると、工事日が確定している契約者数が前月比 18,071 増の 405,140 件、回線が開通している取付数が前月比 16,792 増の 263,798 件となった。取付数が 7 ヶ月連続で毎月 1 万件を越えて累計 26 万件を突破した。

なお、取付数の内訳では、戸建てが前月比 41 減の 8,466 件、集合住宅が前月比 16,211 増の 237,357 件、法人用途のオフィス・商業ビルが前月比 622 増の 17,975 件となっている。

同様に、集合住宅における 1 棟あたりの平均加入戸数は 5.63(集合住宅 7.57、法人用途のオフィス・商業ビル 1.28)、集合住宅取付棟数は前月比 1,350 増の 45,359(集合住宅 31,352、法人用途のオフィス・商業ビル 14,007)となっている。

(3/9)

住友電気工業、最大 200Mbps の高速 PLC モデム 2 製品を開発

住友電気工業は、東京電力と共同で最大 200Mbps の通信に対応した高速電力線搬送通信(高速 PLC)モデム 2 製品を開発したと発表した。

今回開発されたのは、日本国内におけるユーザー宅内のネットワーク利用を想定した桌上設置型モデムと、コンソート差込型モデムの 2 製品。

両製品ともに、変調方式は OFDM を採用。2MHz～30MHz の周波数帯域に多数のキャリアを立てることでノイズに強い高速通信を実現している。

OFDM 変調部にはスペインの DS2 社製のチップを採用。マルチアクセスと QoS 機能を備えており、映像信号を途切れることなく複数のモデム間で通信ができるという。

住友電気工業では、2005 年 1 月に総務省内に「高速電力線通信に関する研究会」が発足され、高速 PLC 利用時に電力線からの漏洩電界が他の無線機器に与える影響を評価されており、2005 年度末にも規制緩和が期待できるとしている。

その上で同社は、国内での高速 PLC 利用が認められると同時に今回発表した製品を投入したいと考え。

(3/8)

ソニー、フラッシュメモリ採用のネットワークウォークマン 3 製品を発表

ソニーは、フラッシュメモリを採用したネットワークウォークマン「NW-E500/400 シリーズ」2 製品 4 モデルを 2005 年 4 月 21 日に、「NW-E100 シリーズ」1 製品 3 モデルを 2005 年 3 月 21 日に発売すると発表した。

「NW-E500/400 シリーズ」は FM チューナを搭載する 1GB モデル「NW-E507」と 512MB モデル「NW-E505」、FM チューナを搭載しない 1GB モデル「NW-E407」と 512MB モデル「NW-E405」の 2 製品 4 モデル。

音声圧縮方式は ATRAC3plus と MP3 の再生に対応。対応ビットレートは ATRAC3 が 66/105/132kbps、ATRAC3plus が 48/64/256kbps、MP3 は 32～320kbps。なお、MP3 ファイルの転送は、著作権保護のため SonicStage で行なう必要がある。

ディスプレイ部は、最大 3 行表示が可能な有機 EL ディスプレイを搭載し、漢字表示にも対応する。また、スクリーンセーバー起動時にはラップタイムもしくは、時計とカレンダーを同時表示する画面が立ち上がる。

また、イコライザ機能としては、高音と低音レベルを調整する「デジタルサウンドプリセット」を装備。操作系統のうち、早送りや巻き戻し、グループ機能、ホールド機能はジョグジャトル部分に統合されており、片手でも簡単に本体操作が可能になっている。

電源は内蔵リチウムイオン電池で、USB 充電に対

応。ソニー独自の技術である低消費電力システム LSI(パーチャルモバイルエンジン)により最長約 50 時間(ATRAC3 105kbps/パワーセーブモードスーパー時)の長時間連続再生を実現。

さらに、超高速充電に対応し、3 分の充電時間で約 3 時間(同)の再生が可能。80%の充電には約 45 分、満充電には 2 時間を要する。

最大外形寸法は 84.9×16.1×29.1mm(幅×奥行き×高さ)、重量は 47g(内蔵充電電池含む)。オーディオ管理ソフト「SonicStage Ver.3.0」や、スマートクラブ、専用 USB ケーブルなどが付属する。

カラーバリエーションは、MW-E507/E505 がスパーリングシルバー、アズールブルー、チェリーピンクの 3 種類。NW-E407/E405 がミッドナイトブラック、オーシャンブルー、ローズレッド、オリーブグリーン の 4 種類。加えて、ソニースタイル限定モデルとして、NW-E507 のプレミアムゴールドモデル「NW-E507/N」が用意される。

「NW-E100 シリーズ」は丸形のデザインを採用したオーディオプレーヤー。内蔵メモリ容量が 1GB の NW-E107、512MB の NW-E105、256MB の NW-E103 の 3 モデルが用意される。

音声圧縮方式は ATRAC3plus と MP3 の再生に対応。全曲を対象にしたシャッフル再生モードを搭載するほか、音質調整用のデジタルサウンドプリセットを搭載する。

中央に液晶ディスプレイを備えた丸形のボディが特徴。前面パネルの各部を押し込むことで操作が行なえる「一体型キー機構」を採用し、パネルの右上を押すと再生/停止、下の左右を押すと曲スキップ(FR)、バック(BF)などの操作が可能となっている。側面には HOLD/GROUP ボタンや、ボリュームボタンも備えている。

ソニー独自の低消費電力システム LSI を搭載することにより、単 4 形アルカリ乾電池 1 本を使用して最長約 70 時間(ATRAC3 105kbps/パワーセーブモードスーパー時)の長時間連続再生が可能となっている。

最大外形寸法は 56.2×58.1×19.2mm(幅×奥行き×厚み)、重量は 26g(本体のみ)/37g(単 4 電池含む)。

カラーバリエーションは、フロスティルパー、ベルベットレッド、アクアティックブルー、ジャンピングオレンジの

4 種類。加えて、1GB モデルの NW-E107 ではソニースタイルモデルとして、アイシー ホワイト「NE-E107/W」も用意される。

(3/8)

東芝、フミヤがデザインした「gigabeat」限定モデルを発表

東芝は、1.8 型 HDD 内蔵オーディオプレーヤー「gigabeat」の特別限定モデルとして、アーティストの藤井フミヤがデザインを担当した「gigabeat F10 fumiya model」を 2005 年 3 月 11 日に発売すると発表した。

ベースとなっているのは gigabeat の 10GB モデル「F10」。液晶画面周辺、内部のスクリーンセーバー、壁紙などが藤井フミヤオリジナルデザインとなっている。

スクリーンセーバーや壁紙などはフラッシュメモリ内に保存されているため、ユーザーが利用できる HDD 容量は F10 と同じ。

そのため、F シリーズのファームウェアがアップデートされた際には、通常の F シリーズ用に加え、fumiya model 専用のアップデートの 2 種類が用意される。

また、HDD 内に藤井フミヤの楽曲「TRUE LOVE」と「木漏れ日の風に吹かれ」のインストールメンタルを収録している。

価格はオープンプライス。3,000 台限定販売となり、直販サイトや TSUTAYA などの大手 CD ショップなどで販売される。

(3/8)

iTunes Music Store、ダウンロード販売数が 3 億曲を突破

米 Apple Computer は、「iTunes Music Store」でダウンロード販売された楽曲数が 3 億曲を超えたと発表した。

iTunes Music Store は 2003 年 4 月のオープン以来、2004 年 3 月に 5,000 万曲、同年 7 月に 1 億曲の累計楽曲販売数を発表している。

また、Apple では iTunes Music Store が独占販売した楽曲「Across the Universe」が、米国音楽ヒットチャートビルボード Hot 100 シングルチャートの 22

位にランクインしたことも発表。

同曲はインド洋・スマトラ沖大地震のチャリティソングとして制作され、販売で得られた利益はユニセフを通じて津波被害者支援のために寄付される。

(3/4)

デジタル家電向け HDD I/F 規格「CE-ATA」が策定

米 Intel は、サンフランシスコで開催中の開発者向け会議「IDF (インテル・デベロッパ・フォーラム) Spring 2005」にて、携帯端末やデジタル家電向けのストレージ・インターフェイス規格「CE-ATA 1.0」の最終版を公開した。

CE-ATA は、小型 HDD などでの利用を想定したインターフェイス規格。従来の IDE などよりピン数が少なく、低電圧で、電力効率、コスト効率、実装効率など、小型機器に求められる要件を満たすインターフェイスとしている。

米 Intel、日立グローバルストレージテクノロジーズ、Seagate、Marvell Semiconductor、東芝アメリカ・インフォメーション・システムズは、2004 年 9 月に規格策定のためのインシアチブを設立。わずか 6 ヶ月で仕様公開を実現したことになる。

2005 年末までには CE-ATA に対応した製品が市場に投入される見込みとしている。

(3/4)

レーベルゲート、MP3 転送に対応した「SonicStage 3.0」発表

レーベルゲートは、同社が運営する音楽配信サイト「Mora」対応のオーディオソフトとして「Sonic Stage 3.0」の無償配布を 2005 年 3 月 2 日より開始した。

SonicStage はソニーが開発したオーディオ管理ソフト。従来レーベルゲートでは Mora 用ソフトとして「Sonic Stage 2.3 for Mora」を公開していたが、今回のバージョンから「for Mora」の文字が省かれている。

ソニーが 2005 年 3 月 2 日に発表した新 Hi-MD ウォークマン「MZ-DH10P」、「MZ-RH10」に付属の SonicStage 3.0 と同様に、MP3 形式の曲を MP3 対応の Hi-MD ウォークマンなどに転送できるようになったほか、GUI を改良し、楽曲表示エリアを拡大した。

また、従来「マイセレクトアルバム」と呼んでいたアルバムの編集機能を「プレイリスト」に変更。ライブラリからプレイリスト編集を呼び出し、ドラッグアンドドロップでプレイリストを編集できるほか、他のソフトで作成した.m3u プレイリストの読み込みも可能となった。

マイライブラリの曲情報も強化され、リリース年や作曲者情報が表示されるほか、一覧の見出しの項目追加、削除、見出しの並び替えなども手軽に行なえるようになった。

さらにマイライブラリ上の MP3 ファイルを使用し、MP3 CD の作成ができるようになったほか、Hi-MD やネットワークウォークマンでアナログ録音(マイク含む)したデータを WAV(PCM)形式で保存する機能や、ポータブルプレーヤーやメディアに楽曲を転送する際にビットレートを指定する機能なども新たに装備した。

従来の SonicStage 2.3 for Mora と同様に、SonicStage 上から Mora にアクセスし、楽曲の試聴/購入が可能で、新たに、Internet Explorer から Mora の視聴やダウンロードを行なった場合も自動的に SonicStage が起動するようになった。

また、対応オーディオプレーヤー(ATARC Audio Device)をパソコンと USB 接続した際にも SonicStage が自動起動し、接続時の機動の手間を省くなどの改善が図られている。

対応 OS は Windows 98SE/Me/2000/XP。ソニーでも最新アップデートを公開している。

(3/2)

ソニー、有機 EL ディスプレイ搭載の録再対応 Hi-MD ウォークマン発表

ソニーは、有機 EL ディスプレイ搭載の録音/再生 Hi-MD ウォークマン「MZ-RH10」と再生専用 Hi-MD ウォークマン「MZ-EH930」を 2005 年 3 月 10 日に発売すると発表した。

MZ-RH10 は、ATRAC3/ATRAC3 plus に加え、MP3 の再生に対応する MD ウォークマン。MP3 の対応ビットレートは 32kbps~320kbps。

付属の PC 用オーディオソフト「SonicStage 3.0」の楽曲管理データを利用し、アーティスト/アルバムなどで楽曲検索ができるほか、インシヤル検索機能なども備えている。また、プレイリスト再生にも対応する。

PC から USB 経由での音楽ファイルの転送に加え、マイク入力と光デジタル音声入力を装備し、リアル PCM/ATRAC3plus 形式での録音が可能。

録音ファイルは暗号化されているが、SonicStage から PC にアップロードする際に通常の WAV ファイルに変換され、録音したデータを自由に扱うことができる。

ボディ前面にはハーフミラー処理を施し、大型の有機 EL ディスプレイを装備。バッテリーはニッケル水素充電電池「NH-14WM(A)」が付属。USB 充電も可能となっている。また、付属の乾電池ケースで単三電池も利用できる。

バッテリー駆動時間は約 14.5 時間(Hi-LP/ATRAC3plus 64kbps)、約 8.5 時間(録音時、Hi-LP/ATRAC3plus 64kbps)、単三電池併用時はそれぞれ 33 時間、12.5 時間。最大外形寸法は 81.9×22.1×84.8mm(幅×奥行き×高さ)、重量は約 147g(充電電池 27g 含む)。充電スタンドも付属する。

ボディカラーはブラック(-B)/シルバー(-S)/ブルー(-L)/オレンジ(-D)の 4 色。価格はオープン。

MZ-EH930 は、再生専用の Hi-MD ウォークマン。MZ-DH10P/MZ-RH10 と異なり、MP3 の再生には対応しない。

HD デジタルアンプと DSP Type-S を搭載し、高音質化を図っている。サウンド音場技術「VPT アコースティックエンジン」や 6 バンドイコライザなども搭載する。

電池はニッケル水素充電電池で、単三電池の外付けも可能。最大約 65 時間(Hi-LP/ATRAC3plus 64kbps)再生できる。外形寸法は 76.9×14.7×83.4mm(幅×奥行き×高さ)、重量は約 103g(充電電池含む)。漢字表示対応液晶スティックリモコンが付属する。

ボディカラーはシルバー(-S)/ブルー(-L)/ブラウン(-T)の 3 色。価格はいずれもオープン。

(3/2)

ソニー、MP3 と新規格「Hi-MD PHOTO」対応 MD ウォークマン発表

ソニーは、MP3 再生と新規格「Hi-MD PHOTO」に対応した Hi-MD ウォークマン「MZ-DH10P」を

2005 年 3 月 10 日に発売すると発表した。

MZ-DH10P は、200×200 ドットの 1.5 型カラー液晶と、有効 130 万画素 CMOS によるデジタルカメラ機能を搭載した Hi-MD ウォークマン。

対応する音声圧縮フォーマットは従来の MD や 1GB 容量の Hi-MD の ATRAC3/ATRAC3plus に加え、新たに MP3 の再生に対応した。

付属のオーディオジョークボックスソフト「SonicStage」も Ver.3.0 にアップデート。MP3 対応や、GUI の変更のほか、プレイリスト登録機能、ジャケット写真の管理機能、MP3CD 作成機能などが追加された。

なお、MP3 も含め Hi-MD に転送した音楽ファイルは、他のパソコンにコピーして再生することはできず、MP3 ファイルの転送も、著作権保護のため SonicStage で行なう必要があるといった制限がある。

カラー液晶搭載面には MD/カメラの操作ボタンなどを装備。液晶背面にはレンズバリアを備えており、レンズバリアはモードスイッチを兼用している。

HD デジタルアンプにより Hi-MD モードでの高音質化を図ったほか、「ATRAC/ATRAC3 用の DSP Type-S」を搭載し、MDLP モードでも音質を改善した。PC からの USB 転送には対応しているが、本体に録音機能は備えていない。

また、カラー液晶を搭載したことで、SonicStage 3.0 で登録したアルバムのジャケット写真やジャケット写真からのアルバム検索が行なえるほか、MZ-DH10P で撮影したデジタルカメラ画像をジャケット写真として登録することもできる。

電源はリチウムイオン充電電池「LIP-4WM」で、バッテリー駆動時間は、約 14 時間(Hi-LP/ATRAC3plus 64kbps)/約 13 時間(MP3 128kbps)。最大外形寸法 84.5×25.7×82.7mm(幅×高さ×厚み)、重量約 155g(充電電池 10g を含む)。AC アダプタのほか、充電スタンドも付属する。

なお、今回、Hi-MD での画像記録用に新たに Hi-MD PHOTO 規格を策定。多くのデジタルカメラで採用している「DCF/Exif」を採用しながらも、サムネイルキャッシュファイルを規定し、画像一覧などのサムネイル表示の高速化などが図られている。

ボディカラーはシルバー(-S)とブラック(-B)が用意

される。価格はいずれもオープン。

(3/2)

Rio、有機ELとリモコン機能内蔵のフラッシュメモリープレーヤー発表

Rio Japanは、フラッシュメモリー型MP3/WMAプレーヤーの新モデル「Unite(ユナイト) 130」を2005年3月下旬に発売すると発表した。

Unite 130は、スライド式のUSB端子を背面に装備したフラッシュメモリー内蔵型のオーディオプレーヤー。

対応する音声圧縮フォーマットはMP3/WMA/OGG/WAV/ASF。WMAのDRM9や、ID3タグの日本語表示にも対応している。

また、MP3エンコーダも内蔵。アナログ音声入力からのダイレクトエンコードに加え、本体に内蔵したマイクを使ったボイスレコーディング、内蔵FMチューナの録音もMP3形式で行なえる。

いずれのモードでも録音ビットレートは64/96/112/128/160kbpsから選択可能。また、FM放送の録音時にはタイマー録音も可能。音質面ではSRS WOW、2バンドのカスタムイコライザ、5種類のプリセットイコライザを内蔵する。

2色の有機ELディスプレイを採用し、デザイン的な面だけでなく、視認性も向上している。メニュー表示は日本語、英語、韓国語、中国語が選択できるほか、メモリに保存したテキストファイルの表示もサポート。さらに、シンプルなゲームも内蔵している。

PCとの接続は背面のスライド式USB 2.0端子を利用。ストレージクラスに対応しており、専用ソフトを使わずに音楽ファイルの転送が可能。Windows Media Playerを使つての転送もサポートする。

また、IrDA準拠の赤外線通信ポートを装備。同社のWebサイトで公開している設定ファイルをダウンロードすると、デノンのミニコンボや、各社のテレビの基本操作が行なえるリモコンとしても利用できる。

電源は内蔵のリチウムポリマー充電電池を使用。充電用のACアダプタを同梱するほか、USBバスパワーからの充電も可能。3時間の充電で約27時間の連続再生が行なえる。

外形寸法は26×70×18mm(縦×横×厚さ)。

充電電池を含む重量は40g。イヤホン、USB延長ケーブル、ネックストラップ、アナログ音声ケーブルなどを同梱する。

メモリー容量は256/512MB、1/2GBの4モデル。カラーは各モデルにシルバー、オレンジ、レッド、ネイビー、スカイブルーの5色が用意されるが、2GBモデルはシルバーのみ。価格はいずれもオープン。

(3/2)

SonyEricsson、「ウォークマン」ブランドの携帯電話を欧州で発売

英SonyEricssonは、「ウォークマン」ブランドを冠した携帯電話「W800」を発表した。

W800は、ポータブルオーディオ向けの「ウォークマン」ブランドを冠した初の携帯電話。欧州のGSMトリプルバンド(900/1800/1900MHz)に対応した「W800i」と中国向けの「W800c」が用意される。

メモリースティック Duo に記録したオーディオデータを、本体に内蔵する「Music Player」で再生可能となっており、1ボタンでプレーヤー機能呼び出せる。

対応するオーディオ形式はAACとMP3。CDリッピングソフトも付属し、PCに取り込んだオーディオデータをメモリースティック Duo に記録して、転送できる。

ステレオ音声出力ケーブル「MMC-60」によるオーディオ出力も可能。26万色表示/176×220ドットの液晶ディスプレイを装備。

200万画素のデジタルカメラ機能を装備するほか、MPEG-4プレーヤー機能やFMラジオも搭載する。2005年第3四半期より発売予定。

(3/2)

EMD Magazine 第42号

発行 2005年8月6日

発行所 音楽配信関連情報サービス

責任編集 宮腰 温

レイアウト 株式会社アイビルダーズ